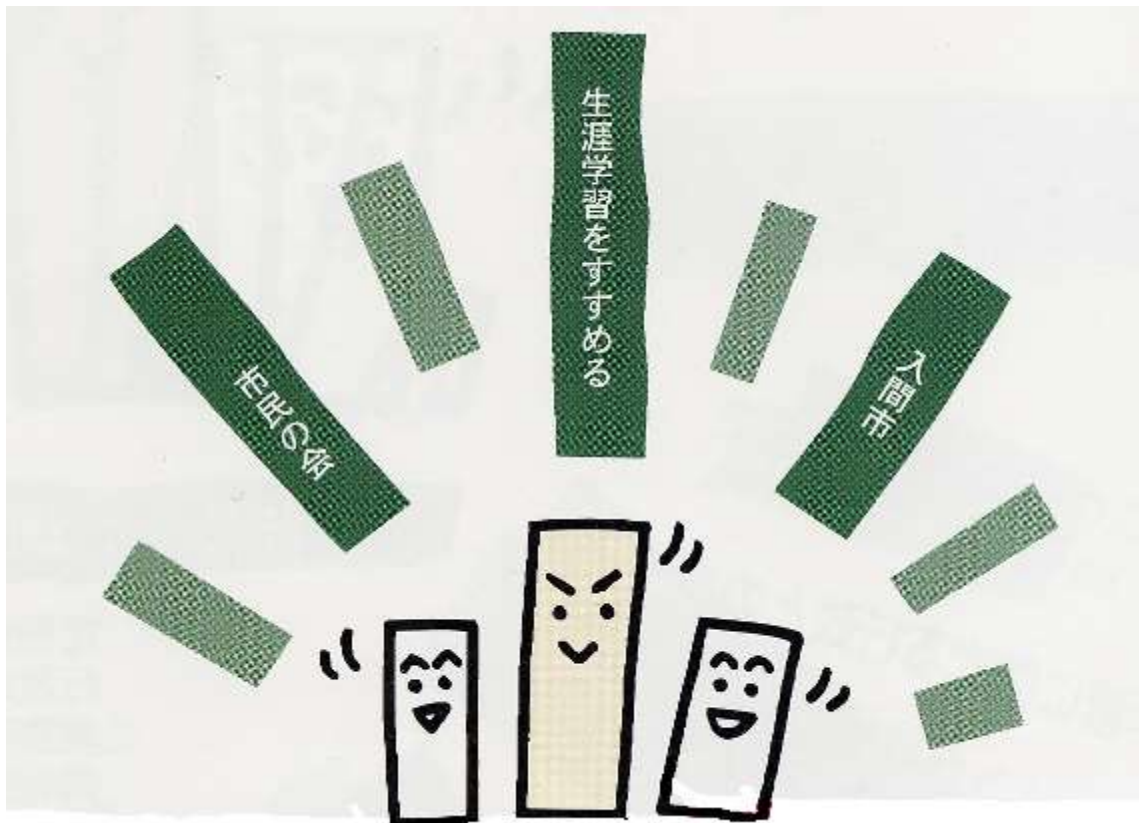


平成18年度

入間市生涯学習をすすめる市民の会
活動報告書



目 次

1、平成18年度活動計画	1
1) 基本目標	
2) 活動部会・担当の活動目標と事業内容	
2、活動部会・担当の活動報告、課題	2
・ 情報部会	
・ 講座部会	
・ 学校と地域の連携部会	
・ 広報部会	
・ 生涯学習フェスティバル担当	
・ 視察・研修担当	
3、市民の会活動の成果と課題	16
4、収支決算書	19
5、資料	20
・ 会議及び作業一覧表	
・ 平成18年度視察・研修報告書	

市民の会とは、
市の生涯学習を推進する市民ボランティアであり、市民の生涯学習に関する
市民と行政とのパイプ役です。市の生涯学習推進計画に沿って、市とともに生
涯学習の推進に取り組んでおり、生涯学習情報の収集・提供、生涯学習フェス
ティバル等の事業も企画、立案・実施しています。

1、平成18年度活動計画

1) 基本目標

入間市生涯学習をすすめる市民の会は「市民による市民のための生涯学習の推進」との入間市教育行政の基本方針に則り、市との協働によるまちづくりをすすめる。

2) 活動部会・担当の活動目標と事業内容

活動部会・担当	活動目標 及び 事業内容
①情報部会	活動目標 ー様々な生涯学習情報（公民館サークル、民間教室、体育情報）を収集し、市民へ提供する 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の活用 ・「学びの場」発行 ・まちづくりに関わる学びの情報収集
②講座部会	活動目標 ー生涯学習を通し、市民活動（まちづくり）に関わっていただける人の発掘 ー行政では取り上げないようなテーマの講座開設 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座の開設
③学校と地域の連携部会	活動目標 ー市民の生涯学習活動を、学校を含むまちに生かすシステムづくり 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・黒須中との話し合い継続 ・公民館との連携の可能性を探る
④広報部会	活動目標 ー様々な媒体により市民の会を入間市民にアピールする 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・FM 茶笛による広告宣伝の継続 ・ホームページのグレードアップ ・他媒体による市民への活動報告ー「かがやく」の紙面活用 ・生涯学習フェスティバルの市民の会展示物作成
⑤視察・研修担当	活動目標 ー市民の会自らも常に学ぶことを大切にし、生涯学習推進のための諸問題について研修・研究する 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・他市の視察を年一回実施（市民が積極的に生涯学習に取り組んでいるまち） ・IT 技術研修（PC,パワーポイントなど） ・プラン21勉強会ー行政と市民の会との協働研修も含む
⑥生涯学習フェスティバル担当	活動目標 ー市民の会の立場をもって生涯学習フェスティバル実行委員会に参画し、フェスティバル開催をすすめる 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルの開催

2、活動部会・担当の活動報告と課題

情報部会

部会長：室山茂子

大坪 功 多田外志

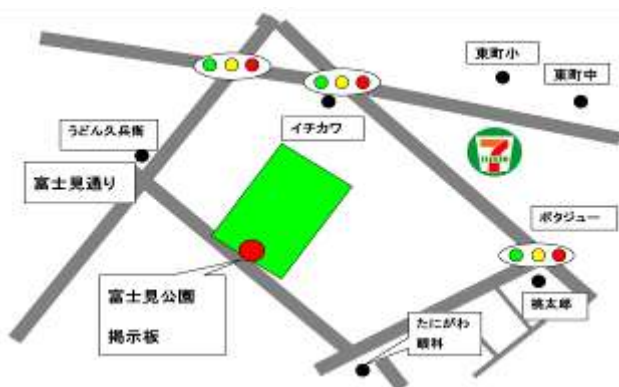
- 部会の目標
- ① 平成18年度いるま学びの場発行
 - ② 学びの場ホームページの維持管理
 - ③ 掲示板の活用、維持

- 活動実績
- ① 平成18年度いるま学びの場発行（600冊・情報件数約1,600件）
 - ② 掲示板の活用方法をいるま学びの場に掲載
 - ③ 公的施設、病院、郵便局、銀行などに閲覧用として常設
 - ④ 掲示板設置案内図を作成（下記の地図参照）

掲示板の地図

①富士見公園入口

入間市東町1-16



②入間市駅前プラザ内

入間市向陽台1-160-12



③新しきを知る公園(第二公園)

入間市豊岡1丁目-1



④文化創造アトリエ交差点角

入間市大字仏子764番地



⑤さくら公園
入間市下藤沢323



⑥JR 金子駅前駐輪
入間市南峯407



現在、掲示板は上記地図内に下記の写真の作品です。

* 掲示板は生涯学習活動(サークル、教室)の作品を取り入れた手作りでどれも素晴らしいものです。(市内6基)

①富士見公園入口(東町1丁目)
〔風景画〕

③新しきを知る公園(豊岡1丁目)
〔陶芸〕

⑤さくら公園(下藤沢)
〔組み木〕



②入間市駅前プラザ内(向陽台広場)
〔トールペイント〕

④文化創造アトリエ交差点角(仏子)
〔子どもたちの絵〕

⑥金子前公園(南峯)
〔スタンドグラス〕

市民団体主催事業のチラシやポスターをどなたでも貼ることができます。

活動の総括

- ① 19年度いるま学びの場の発行に伴い、新たな情報の収集
- ② 掲示板の活用方法と補修維持管理

講座部会

部会長 多田 外志

並本 寿紘、杉山 若江

◇部会の目標

- ☆ 生涯学習を通し、市民活動（まちづくり）に関わっていける人の発掘
- ☆ 行政では取上げないようなテーマの講座開設

◇具体的な取組み：市民講座の開催

1. 市民講座としての活動実績：

- ☆ 平成15年から“市民のいるま塾”として、毎年下記のように開催。
講座終了後も塾生同期の有志が会を結成し、会員相互の自己啓発活動などを通して生涯学習を推進するとともに、まちづくり関与の一環としてボランティア活動などにも参加するなど、幅広い取組みを展開しています。

*第1回（平成15年）「充実した中高年の生きがい作り」
～生涯現役ってなんだろう？長寿社会の生きがい探し～

*第2回（平成16年）「子育て支援実践講座」
～地域ぐるみの子育てを目指して～

*第3回（平成17年）「見直そうくらしと経済」
～目からウロコが落ちる活きたお金の使い方～

2. 今年度の取組みと活動のまとめ

- ☆ “第4回市民のいるま塾”を「50代から考える生き生き人生創造講座～熟年人生を豊かにするためのヒントがいっぱい～」と題して、後掲日程・内容に従い、全6回にわたって実施いたしました。

今年度は、いわゆる団塊の世代を対象に、まだまだ元気なシニアの時を、もっとすばらしいものにするための発想の転換から、より充実した生活を送るために必要な取組みまでを、50代のうちから考えることを通して、熟年人生を豊かにかつ生き活きと活動していくためのヒントと行動のきっかけを見つけていただく・・・ことをテーマに開催したのですが、参加者の70%の方が50代であったことを考えると、この世代の方々の関心が高かったことがうかがわれ、そうした意味では時宜をえたものであったと考えております。また講座ごとのアンケートならびに全講座終了後の感想などから、参加のみなさんそれぞれに新たな発想とそれにもとづく取組み方をみつけていただいたものと考えられることから、今年度講座も所期の目的を達成することができたものと評価しています。講座に

対するみなさんの熱意に改めて敬意を表するとともに、これを契機にみなさんそれぞれのライフプランがより豊かなものにつながるよう願ってやみません。

“第4回市民のいるま塾”も滞りなく終了させることができました。これも参加者・講師・体験発表ほか関係のみなさん方の多大なご協力・ご支援あつてのことと改めて厚く感謝申し上げます。

なお、みなさんから寄せられた講座へのいろんな気付きや改善点などについては、新たな企画や運営に反映させることによって、今後の“市民のいるま塾”充実のための糧にしていきたいと思えます。

<第4回（平成18年度）“市民のいるま塾”講座日程と内容の概要>

「50代から考える生き生き人生創造講座」

～熟年人生を豊かにするためのヒントがいっぱい～

- ・第1回（平成18年11月25日（土）13:00～15:30 市民体育館）
「頭は50代で切り換えよう」 ～熟年人生を豊かにするための発想転換術～
講師：東京家政大学人間文化研究所 関根靖光教授（所長）・福沢恵子客員研究員
- ・第2回（平成18年12月9日（土）13:00～15:30 中央公民館）
「備えあれば憂いなし」 ～老後の生活基盤を考える～
講師：NPOらしさ 高橋希代子副理事長（ファイナンシャルプランナー）
- ・第3回（平成18年12月16日（土）13:00～15:30 産業文化センター）
「夫婦は人生最良のパートナー」 ～家族との新たな絆を考える～
講師：東京家政大学人間文化研究所 関根靖光教授（所長）・福沢恵子客員研究員
体験発表：（いるま塾）岩崎廣司・岩崎佳子夫妻（五円会）川俣義明・川俣サ夫妻
- ・第4回（平成19年1月13日（土）13:00～15:30 産業文化センター）
「人生を豊かにする仲間づくり」～地域とのつながりを考える～
講師：東京家政大学人間文化研究所 関根靖光教授（所長）・白木堅信講師
体験発表：（金子おやじの会）師岡英男氏・北村暢章氏
- ・第5回（平成19年1月20日（土）13:00～15:30 産業文化センター）
「なんととっても元気が一番」～くらしと健康を考える～
講師：入間市健康福祉センター 健康運動実践指導者 戸坂次郎氏
体験発表：森岡淳彦氏

- ・第6回（平成19年2月3日（土）13:00～15:30 産業文化センター）
「これからの生き方を考える」～自分流ライフスタイルの探求とまとめ～
（司会）入間市生涯学習をすすめる市民の会講座部会
主 催：入間市生涯学習をすすめる市民の会・入間市（高齢者福祉課）
協 力：東京家政大学人間文化研究所

学校と地域の連携部会

部会長 関谷敦子

岡野 こずえ、岡野 亘、小暮欽作、斎藤次雄、下野武司、松永輝義

部会の目標

市民の生涯学習活動を推進するため、学びを地域の学校を含むまちに生かすシステムづくり

活動実績

① 黒須中との給食ボランティア導入の可能性についての検討

市民が学校に気軽に関われる仕組みづくりについて話し合い、給食の時間にボランティアが入ることができるかどうかの検討事業を行った。生涯学習推進と給食ボランティアの活動のより実現可能な関係づけを見つけ出すことが今後必要である。（生徒とともに授業を受けられるといった取組みなど）

② 高倉小学校6学年

「総合的な学習の時間」へのゲストティーチャーのコーディネート

1学期「日本の文化」尺八・三味線・和太鼓などの歴史の説明・演奏・体験への協力



③ 高倉小学校6学年

「総合的な学習の時間」へのゲストティーチャーのコーディネート

2学期 10月末～11月末

「日本の歴史」生け花の歴史の説明・実技の体験への協力・指導
弓道の歴史の説明・実技体験への協力・指導



今年度の目標に対する評価

市民の生涯学習を地域の学校を含むまちに生かすシステムづくりを目標として活動してきたが、生涯学習課と学校教育課という二つの業務分割の間で、市民の学びを積極的に授業に活かしていく上での壁があった。そのため、システムを実現するには至らなかった。

今年度のまとめ

生涯学習活動を推進するため、市民の力を学校に活かすことと、よりよい授業をするために学校教育に民間の力を活かすことは必ずしも一致しないためということが明らかになった。今年度までも、総合的な学習の時間担当者の会議等に出向いて、事例の紹介などを行ってきたが、具体的な引き合いは発生しなかった。これは、この二つの利害関係の問題であり、今後は、学校だけに活かす道を探るのではなく、学びたい市民が幅広く利用できる「講師情報」などとして、情報をまとめ、その利用者の中に学校がいるという形の方が望ましいと考える。

次年度の目標

これまでの活動結果を受け、今後は「生涯学習の成果」を学校だけに限らずに活かしていく道を考えるべきとの結論になった。次年度は、公民館とどのように連携することができるかなどを含め、生涯学習推進のために、「学びの場」だけでなく、「学びを活かす場」情報として収集・活用していくべきと考える。

広報部会

部会長 田中伸一

岡崎幸子、大坪 功、栗原良子、野村和雄、室山茂子

部会の目標

様々な媒体により、「市民の会」を入間市民にアピールする。

- ① FM茶笛による広告宣伝の継続
- ② ホームページのグレードアップ
- ③ 他媒体による市民への活動報告
- ④ 生涯学習フェスティバルの市民の会展示物作成

活動実績

- ① FM茶笛による広告宣伝

毎月一回FM茶笛の担当者、篠田さんと打ち合わせを行い、「気ままにティータイム」の主演者を紹介しています。

推薦基準としては次のようなものを考えております。

- ・あるテーマに長期にわたって学び、発表してきた人
- ・活動に公共性があり、営業的ではないこと
- ・入間市在住あるいは近隣在住

■ 今年度出演者紹介

鹿島 寛さん（キッズアートギャラリー）

黒田まさ子さん（栄養士）

田中 伸一さん（青空テント、「ベアテの贈り物」上映）

- ② ホームページ

新しいホームページを作成進行中

- ③ 市民への活動報告

- ・生涯学習フェスティバルにおいて、市民の会の展示コーナーを設け、活動状況をPR
- ・市民の会の活動状況をアピールするため、『会報』を200部作成し、生涯学習フェスティバルに配布

気ままにティータイム「喫茶室 TEA FOR TWO」2006年出演者

日付	出演者・演題	内 容
4/3	救命ボランティア FAD	
4/10	ジャズピアニスト AMIGO アドバイザー	国府 弘子
4/17	バルーンアーティスト	山北 由香
4/24	映画「神童」製作担当	北田由利子
5/1	ミュージックショー 「ラブソングはひげそりのあとで」	叶 高 他
5/8	日本国際飢餓対策機構	森田 哲也
5/15	助産士	阿部 淳子
5/22	入間市博物館アリット学芸員	梅津あずさ
5/29	産後のセルフケアインストラクター	佐野芙美子
6/5	「草の乱」入間上映実行委員会	栗原 正明
6/12	風の音 ギターフェスティバル	白石美代子
6/19	入間市民大学に出演 ジャズバンド サンカンシオン	サンカンシオン
6/26	日本舞踊発表	
7/3	日本大学芸術学部演劇学科	
7/10	ナレーター	益田 晋
7/17	かしま美術教室	鹿島 寛
7/24	映画サークル 「ダーちゃんの会」	佐藤 弘
7/31	10 ホールズハーモニカ奏者	波木 克己
8/7	西武ライオンズ インボイス担当	高木 慎一
8/15	お米マイスター	坂本 宗司
8/22	栄養士 藤沢東小学校	黒田まさ子
8/29	こころ座	風間 操

9/4	青空テント	田中 伸一	映画会のお知らせ「ベアテの贈り物」、日本国憲法の草案に携わった唯一の女性ベアテさん紹介
9/11	郷土料理について	大野 澄子	二本木の郷土料理を紹介。各家庭で作っていたたくさんの食材を使っの料理を紹介。
9/18	写真愛好家	不破 隆夫	趣味で始めた写真で、ある地方の祭りでグランプリ受賞。その後、カメラはアナログ、現像まではデジタルで作成。
9/25	入間青少年相談員	吉井 亨	入間市の中で20代から30代。
10/2	狭山茶生産者	中島 克典	全国手もみ茶品評会で農林水産大臣賞受賞。
10/9	日高まちづくり研究所	山口じゅん	日高の有志で結成。巾着田でネイチャーコンサート開催。立候補者の声を聞く会を開催。旧山古志村との交流も続けている。
10/16	創作人形作家	高橋まゆみ	入間市博物館アリの企画展「故郷からのおくりもの」開催中の作者にインタビュー。心が動いた風景を人形で表現。
10/23	管理栄養士	藤井江利子	入間市内の介護予防教室などで講師を務めている。朝ごはんの大切さ、バランスのとれた食事とは？良い睡眠とは？などを解説。
10/30	スクールカウンセラー	倉光 牧子	東野高校で不登校の生徒が通うスクールサポートクラスに勤務。自身も不登校の経験を持つ。待つこと、信じる事が大切。
11/6	ギタリスト	マリオ鈴木	フォルクローレギターの第一人者。今年デビュー35周年。ミュージで記念コンサート開催。音楽は世界の共通語。
11/13	飯能名栗エコツーリズム推進	春原 秀樹	飯能名栗地区は、環境省が進めるエコツーリズムのモデル地域。里山のふもとで歴史や文化を感じられる企画を開催。
11/20	JAいるま野	吉井 久	埼玉は野菜王国といわれている。外国産の食材が出回る中、地元の安心で、安全な食材を使っほしい。
11/27	野菜生産者	石川 光公	うどの生産をしている。地産地消を推進。
12/4	金子文化協会	栗原 桂一	金子にまつわる話の紹介。金子十郎善忠は、活躍後地元に戻っている。
12/11	入間市男女共生セミナー実行委員	セミナースタッフ4名	男女共生のための講演会を5回シリーズで企画。講師の選定からアポイントまで行う。
12/25	エアロビックインストラクター	松原ご夫妻	全日本エアロビック選手権大会第3位を受賞。来年は世界大会出場。
1/15	画家	小笠原亮一 小笠原千賀子	現在市内の茶房アトリエワタナベで個展を開催中。父親も画家。父を超えたくて同じ師匠についた。

生涯学習フェスティバル担当

部会長：山増智子

大坪 功、岩崎廣司、岡野こずえ、岡野 亘、小暮欽作、関谷敦子、斎藤次雄、岡崎幸子、野村和雄、室山茂子

部会の目標：市民の生涯学習活動の参加への促進と学習成果の発表を行い、市民と行政が協働によるまちづくりをめざす。

“ 第 12 回 生涯学習フェスティバルのテーマ



「あなたの学びで創るまち」

活動実績：入間市市制施行40周年記念の中で第12回を迎える。

おもな企画名	事業・イベント名
地域と子ども	・ POWER OF DREAM ・ 放課後の子どもたち
地域福祉計画	・ いきいき入間の市民がつくる「地域福祉計画」 ・ 移動美容車の紹介
環境保全とまちづくり	・ エコツアー in 生涯学習フェスティバル ・ 水切り大作戦 ・ いるまの仲間たち ・ ごみ減量はあなたが主役
市民によるまちづくり	・ まちづくりを考える「市民の足を考えよう」
大学と地域の連携	・ 大学っておもしろい！ ・ 社会人学生による体験発表座談会
いるまの芸術文化	・ 目で見入間40年の歩み ・ 参加団体展示・体験

以上の事業の中からまた新たなネットワークが生まれました。

- ・ 入間地域福祉市民研究会
- ・ まちづくりすと勉強会

今回もそれぞれの分野でネットワークを組み、新たな課題を見つけ、いろいろな視点から解決策を試行錯誤しながら、市民と行政によるまちづくりを考える機会になったと思います。継続する力はすごい！

今後の課題：生涯学習そのものは個人に浸透したが、市民に学びを活かしてまちづくりという視点が薄く、仲間内での学習意識が強く感じられる。
わかりやすく生涯学習を周知するにはどうしたらよいか？
フェスティバルで生まれたネットワーク等を応援していくシステムを行政と共に考えていく。

			
第12回「生涯学習フェスティバル」オープニング	白熱する座談会	たくさんの参加者でにぎわう「紙芝居」	最高潮に達し、名残惜しいフィナーレ

視察・研修担当

部会長：岡崎幸子

I T：斎藤次雄、下野武司 視察：野村和雄、山増智子

プラン21：多田外志、中台建二

活動目標

- ① 他市への視察を年1回実施
- ② I T研修実施
- ③ プラン21の勉強会

活動実績（平成15年～平成18年）

視察年月	視察先	その他	備考
平成15年	横浜市		横浜プラザ
平成16年	鎌倉市		

平成17年10月	茨城県日立市		ひたち生き生き百年塾（教育プラザ）
平成18年9月		彩の国生涯学習振興大会	花園町コミュニティーセンター
平成18年10月	茨城県ひたちなか市		第18回全国生涯学習フェスティバル
平成18年9月	ふじみ野市	彩の国生涯学習振興大会	ふじみ野市きららホール

平成18年度視察・研修報告

今年度の視察・研修は昨年と違って、「第18回全国生涯学習フェスティバル」の視察に目を向けました。まず、どんな内容が企画されているか、茨城県教育庁生涯学習フェスティバル推進室を訪ね、親切な説明をしていただき、資料も送っていただきました。研修ポイントを定め、いるまの生涯学習の活動の確認ができる、いるまの活動のPRの場にしよう、他県の活動状況を知ろう、入間市の生涯学習フェスティバルとの違いを見てくる、などなど。

参加者でグループをつくり、グループでテーマを決めて会場を視察し、帰りのバスの中でグループがまとめたものを発表するという企画をたてました。公民館の方にも参加を呼びかけました。忙しい時期で参加はありませんでしたが、いろいろ工夫をした研修内容をもって10月6日（金）市民の会から11名、事務局から3名の合計14名の参加で「まなびピアいばらぎ」の会場、笠松運動公園の会場に向かいました。到着して、低気圧がもたらした大雨で悪天候のため全面中止を知らされました。思いがけない研修になりましたが、参加者の脳裏によぎったものは決してゼロではなかったと思います。

I T 研修

視察研修部会 齋藤次雄

生涯学習を題材にした「MSパワーポイント」の研修

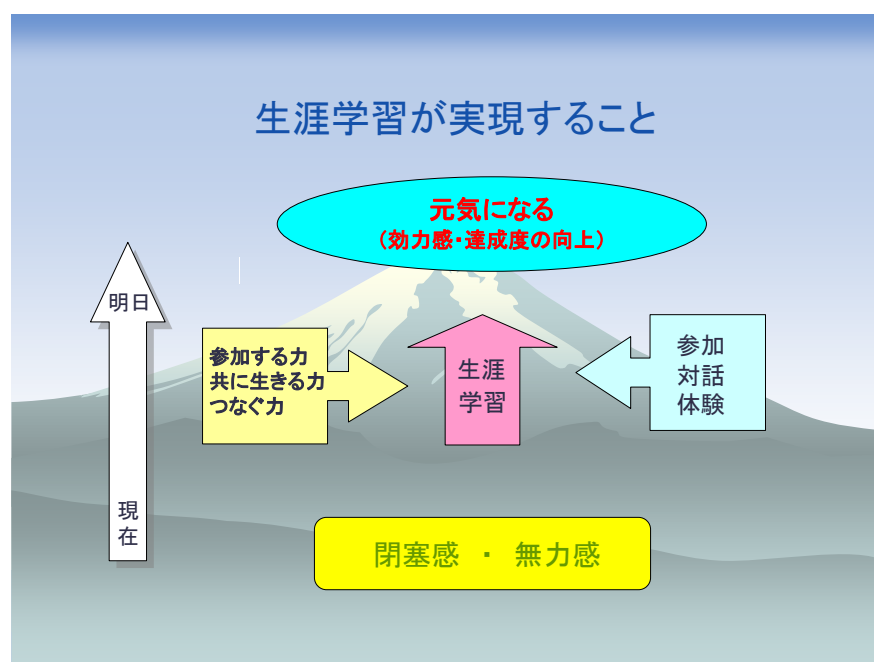
今回のI T内部研修は、10月17日に「マイクロソフト社プレゼンテーションソフトPowerPoint®（以下MSパワーポイント）の使い方」として行われました。

MSパワーポイントは、

- ① 容易にスライドがつくれ、発表時間もコントロールできる、
- ② アニメーション効果が容易につくれる、などの特長があると思われます。

まず、初心者向けに、インスタントウィザードを使ってスライドを作成する実演がなされました。その際、背景はいつでも自由に変えられることが付け加えられました。

次いで、第2次入間市生涯学習推進計画「いるま生涯学習プラン21」の重点課題や施策の展開を題材に、アニメーション効果の種類や使い方、スライド上でのフェルトペンでの書き込み方などを勉強しあいました。



多くの会員との活発なやり取り、質問に対する実演などを通して、少なくともMSパワーポイントでやれることがわかってきたようでした。一方、日頃このソフトを使っている会員には多少物足りなく、その使い方よりも題材の中身に興味が持たれたようでした。

プラン21（第2次生涯学習推進計画）研修会

2006年11月14日（火）19:10～21:15 扇町屋公民館2階和室

これに先立つ第1次推進計画は、生涯学習推進のための環境づくりが主であった。その成果の1つが学習相談体制について「すべての生涯学習関連窓口で職員が日常業務の中で対応しています。」(p.16)に表われている。

本計画の主旨は、市長が冒頭「本計画は、生涯学習推進による市民のまちづくりへの主体的な参画とそこでの市民の学習成果の活用について策定いたしました」と述べている。

平成17年度からスタートしている本計画は、「まちづくりへの主体的な参画」と、「学

習成果の活用」が計画の芯となる。「施策の展開」の中で、学習テーマがライフステージ毎に 23 項目 (p. 12) あげられている。乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期に分かれており、「入間市生涯学習をすすめる市民の会」(以下、市民の会)の活動もどれかに偏ってはよくない。この全体への目配りが必要であると考え。

市民の会は、本計画の施策体系図 (p. 20) の中で「生涯学習の普及・推進」の部分を担当しており、主とした活動は、①生涯学習を推進する市民組織の発展、②生涯学習理念の普及事業の充実、になる。このページの上の方に書かれている「開かれた学校づくりの推進」や「地域が持つ教育力の学校教育への活用」等は重要であるが、学校教育法と社会教育法がからみ、腰をすえてかからないと難しいと思う。

3. 委員の意見と主なやり取り

- ・私たちは市民の会規約 (p. 31) に則って活動するが、規約の中の事業内容が今の説明と異なる。

→ 市民の会の規約の内容に行政は口をはさみづらい。規約は自主的な点検、内容改定が望ましい。部会の名称、活動内容も推進、活用に視点をおいたものに検討しなおす必要があると思う。

- ・生涯学習の推進組織図 (p. 34) はとてもわかりやすいが、現実はこれとかけ離れているのではないかと？市の組織である「生涯学習推進会議」と協議、提言し合うとなっているが実施されていない。また、市民の意見、要望を直接聞いて事業を実施するとなっているが、これも少なくともこの1年半の間なされていない。これでは市と市民の間のパイプ役が果たせないのではないかと？

→ 本計画は市民に公表したものであるし、活動に税金も使っているので何らかの手を打つべき。

- ・施策体系図 (p. 20) は4つに分かれているが、市民の会は全てに関与するのではないかと？

→ 本計画は行政計画であり、主体は入間市である。市民の会は施策体系に基づいて生涯学習の普及、推進に努める。範囲が広くやや漠然としているので、実際の活動計画は絞り込む必要がある。

4. まとめ

今日は有意義な研修であった。今日の話合いの内容を来年度の活動方針に活かすこととしたい。

3、市民の会活動の成果と課題

1) 目標とした事業内容と成果・課題

各部会・担当別事業内容と成果・課題を整理すると下表のようになる。

活動部会・担当	事業内容	成果（実績）	課題・方向性
情報部会	「学びの場」発行	18年版を内容充実して 発刊	情報形態・体裁の見直し
	まちづくりに関わる 学びの情報収集	学びの場発刊に際し 学習情報の収集	市民のニーズの収集 方法
	掲示板の活用	維持管理	今後の方向検討
講座部会	市民講座の開講	市民のいるま塾を6回に 亘って開講	講座から生まれたネ ットワーク等の支援
学校と地域の連携 部会	黒須中との話し合い 継続	・ 黒須中給食ボランテ ィア活動 ・ 高倉小へゲストティ ャーのコーデ ィネート	
来年度に向けての 新たな部会？	公民館との連携の可 能性を探る	公民館職員との話し合い 実施	生涯学習活動の相談 体制の構築
広報部会	F M茶笛による広 告・宣伝	継続して実施	根本的に見直しが必要
	ホームページのグ レードアップ	着手できず	メンテし易いものを 新規に作成を考える
	他媒体による市民へ の活動報告	市民の会会報を発行し、市 民に配布	会報の内容充実
	フェスティバル市民 の会展示物作成	市民の会のコーナーを広 げて展示・P R	より効果的な展示法 の検討
視察・研修担当	他市視察の実施	まなびピアいばらぎ視察 (一部のみ)	
		生涯学習振興大会参加	
	I T技術研修	パワーポイント研修	継続する
	プラン21勉強会	勉強会実施	
		新・現委員研修会	継続する
生涯学習フェステ ィバル担当	生涯学習フェステ ィバルの開催	第12回生涯学習フェ スティバル開催	市民の会とフェステ ィバル実行委員会の 関係等を検討
その他		ワーキングチーム会議へ 初参加	継続して参加する

さらに今年度の活動実績（成果）を第2次入間市生涯学習推進計画の施策体系に沿って整理すると以下ようになる。

施策体系	市民の会活動実績
1、まちづくりにつながる学習機会の充実	・ 第4回市民のいるま塾を6回に亘って開講
2、学習効果の地域社会への活用	・ 第12回生涯学習フェスティバル開催 ・ 黒須中給食ボランティアの実施 ・ 高倉小へゲストティーチャーのコーディネート ・ ワーキングチーム会議への参加
3、生涯学習情報と相談体制の充実	・ H18年度学びの場発刊 ・ 公民館との連携のための会合開始
4、生涯学習の普及・推進	・ 第12回生涯学習フェスティバル開催（再掲） ・ FM茶笛による広報・宣伝 ・ 市民の会会報発行 ・ 生涯学習掲示板の維持管理 ・ 市民の会リーフレット作成 ・ 各種視察・研修活動

2) 成果と課題－まとめ

平成18年度市民の会の活動は、基本的には前年度のテーマを継承し、より一層の推進をはかることを目標にした。

個別目標別には、順調に推進できたもの、遅々とした進行に留まったもの、さらに着手できなかったものが混在している。しかし一方、新規に着手したものもあり、全般的にはほぼ目標どおりの成果を得ることができたと考える。

また、活動実績としては表示していないが、市民の会のあり方について、時間を費やし議論した結果、役割・機能を明確にし、各委員の共通認識をはかることができたことも今年度の成果とみることができる。

一方入間市における生涯学習活動は、環境づくりから学習成果の活用の段階に入っているが、市民の会活動の中で、この段階に達しているものはまだ一部にすぎない状況にある。

今年度、数回の議論を経て、市民の会の機能を、「生涯学習活動普及のためのシステムづくり」とした。今後この方向に向かって、もう一步踏み込んだ活動が求められる。

また、生涯学習推進組織図に照らして、市民の会の活動を評価したとき、①市民と情報交流と②行政との協働の側面において、希薄さを感じる。

①に関しては、各部会の活動や生涯学習フェスティバルの中で、市民との交流が図られてはいるが、市民の会が個々の市民と直接的にどういう形で接点を持つべきなのか。そのひとつとして、学習相談体制にどう取り組んでいくべきかなどは、次年度の大きな課題である。

②に関しては、「生涯学習フェスティバル」をはじめに、「市民のいるま塾」「学びの場発行」等、協働による成果がいくつかあるが、このような活動をより推進するためには、双方の密接な情報交流が必須である。

今年度、この交流が希薄に推移したことは否めない。今後、市と市民の会が定期的な情報交換の機会をもつことによって、市民の会の活動をより充実したものにすることが要諦である。

入間市生涯学習をすすめる市民の会委員

平成 18 年 4 月 1 日現在

いわさき ひろし
岩崎 廣司

せきや あつこ
関谷 敦子

おおつぼ いさお
大坪 功

ただ そとし
多田 外志

おかざき さちこ
岡崎 幸子

たなか しんいち
田中 伸一

おかの こずえ
岡野 小づえ

なかだい けんじ
中台 建二

おかの わたる
岡野 亘

なみもと としひろ
並本 寿紘

くりはら よしこ
栗原 良子

のむら かずお
野村 和雄

こぐれ きんさく
小暮 欽作

まつなが てるよし
松永 輝義

さいとう つぎお
斎藤 次雄

むろやま しげこ
室山 茂子

しもの たけし
下野 武司

やまます ともこ
山増 智子

すぎやま わかえ
杉山 若江



問合せ先

〒 3 5 8 - 8 5 1 1

入間市豊岡1-16-1

入間市教育委員会 生涯学習課 生涯学習文化財担当

入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局

TEL 04-2964-1111 内線4123・4124